

●長者原廃寺跡

昔から、秀衡の御用商人金売り吉次の屋敷跡と伝えられてきましたが、発掘調査の結果、その規模、礎石の配列、出土品等から、藤原氏の時代か、それ以前の重要な寺院跡と推定されます。東西南北それぞれ約100mの土塁に囲まれ、南門跡、西門跡、本堂跡、西方塔跡が確認されています。(昭和32年岩手県指定史跡)

●古戦場展望台

この展望台からは、安倍氏、藤原氏の史跡が一望でき、平安の昔強者達が駆けぬけた古戦場の熱い息吹きが伝わってくることでしょう。又、東に西行法師が詠んだ東稲山、麓を蛇行する北上川、南に関山中尊寺、霊峰月山、西に須川岳を望み、景勝の地でもあります。



●一首坂

前九年の役で衣川が陥ち、北へ逃げる安倍貞任と、これを追う八幡太郎義家が和歌問答をしたと伝えられる坂です。義家が「衣の館はほころびにけり」と下の句を詠むと、貞任が間髪を入れず「年を経し糸の乱れ苦しさに」と応じたと言われております。厳しい合戦の中にあって優雅なことであったと古今著聞集では伝えられています。



主な興味地点

Course Guide



主要観光行事

むらまつり
8月第3日曜日
開催場所
古戸商店街

東北戦古戦場衣川大会
9月第2日曜日
開催場所
衣川村運動広場



●衣川東北ニュージランド村
衣川悠々ファーム

当コースのお問い合わせ・ご連絡先
岩手県衣川村企画課

〒029-43 胆沢郡衣川村大字上衣川字古戸420
☎0197-52-3111

コースの概要

新・奥の細道
NEW OKUNOHOSOMICHI KAMAISHI
東北自然歩道 (古戦場のみち)



ここは、平安時代から数々の歴史の舞台となった衣川の古戦場跡をしのぶことができます。高台の展望台からは、春には桜と新緑、秋には黄金の田園風景、山々の紅葉を望み、その静かな風景のなかに平泉文化の象徴「中尊寺」や義経と北の方の御位牌が安置されている「雲際寺」をながめると、古今が交差し、いにしえの時代に逆上ったように感じられます。

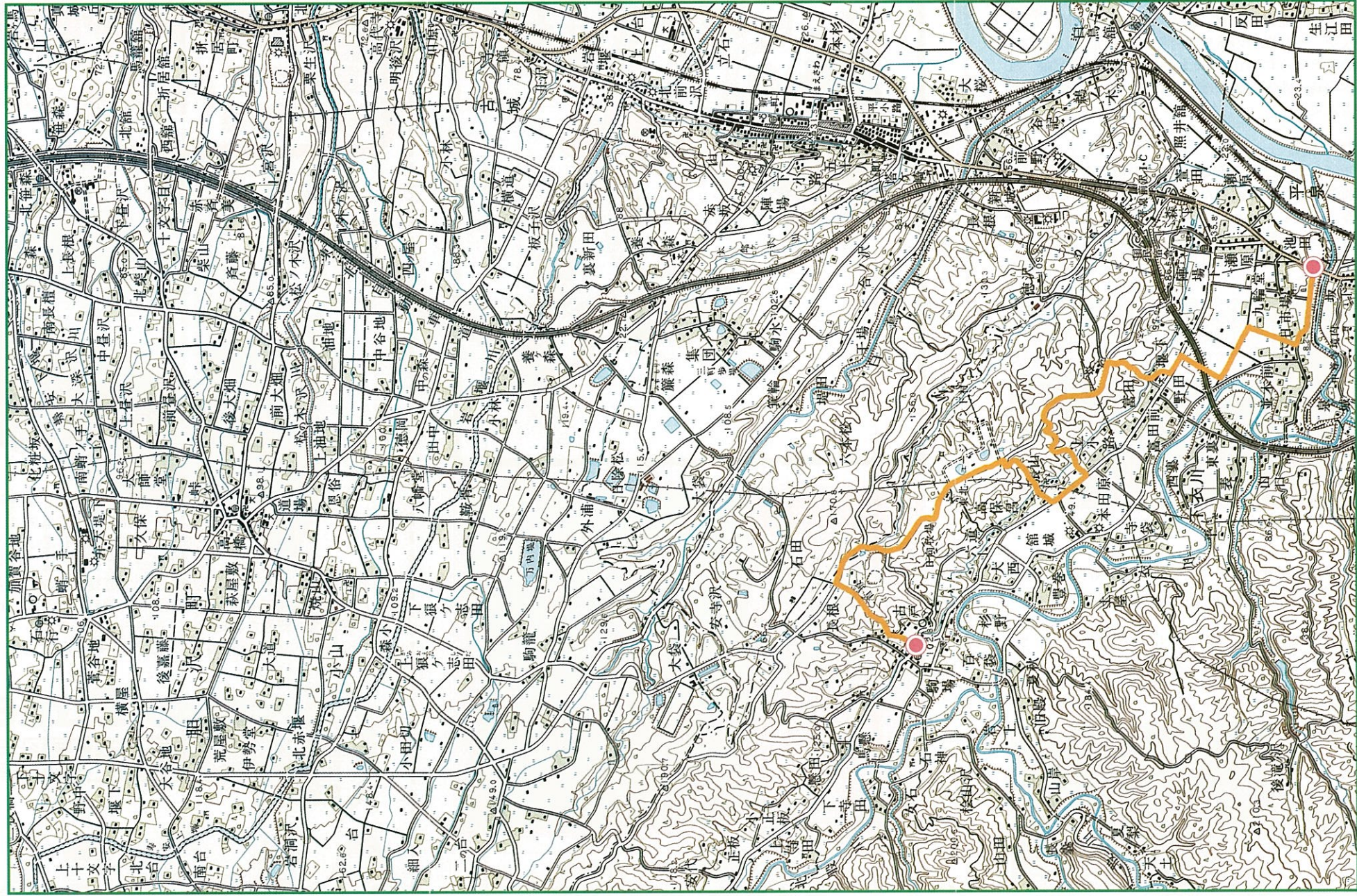
(Course Time)

起 点	1 km 3分	室の樹跡	0.6km 2分	長者ヶ原廃寺跡	2 km 5分
古戦場展望台	2 km 5分	雲 際 寺	2 km 10分	一 首 坂	0.7km 1分
終 点					



Course Map

1
50,000



この地図は、建設省国土地理院基の承認を得て、同院発行の 50,000分の1地形図を複製したものです。
(承認番号 平8東復第 538 号)